



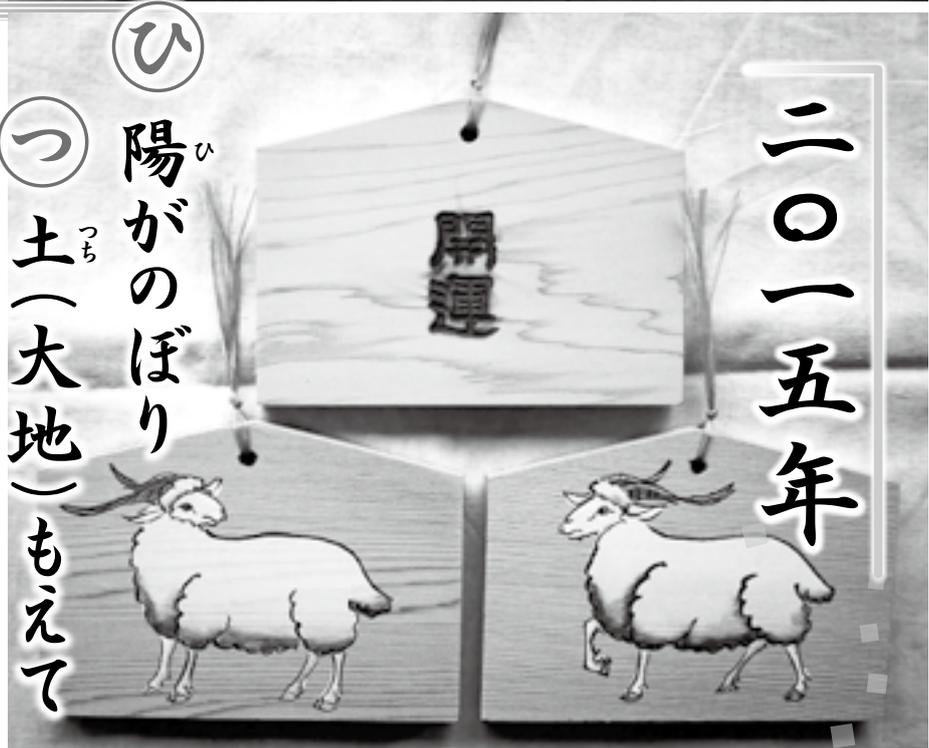
迎春



せしじみち
安原



じ
仁



二〇一五年

ひ
陽がのぼり
つ
土(大地)もえて



おどる

羊致清和

(羊は
天下太平を
もたらす)

未年は、
平和な年
なる

美しいという
漢字は羊と大
からなる

新町 日野さんの作成現場と
実際の神社の絵馬



天気にも恵まれた餅つき大会

十二月七日(日)安原地区子ども会育成会による餅つき大会が親子約百八十人が参加し盛況の中で行われました。役員の方々が朝早くから餅米を蒸かし、臼と杵の用意や、後の会食会などの準備を手際よくしていました。

午前十時頃になると、「よいしょ、よいしょ」の掛け声で餅つきが始まりました。小さなお子さんたちは親御さんと一緒に杵を重そうに持ち上げていました。

つき手と反し手の阿吽の呼吸が求められる餅つきですが、タイミングが大変絶妙であり、リズムカルな動きが心地よいものでした。



よいしょ、よいしょ

つきあがった餅は、きなこと、ごま、からみもちにしました。つきたてのお餅はよく伸び、皆でおいしくいただきました。

師走は冬至、クリスマス、年越しと矢継ぎ早に行事が過ぎていきます。餅つきもかつてはこの家でも年末になると庭先でせいろで餅米を蒸かし、臼と杵を使ってにぎやかな掛け声と共に餅つきをした記憶があります。最近はず環境の変化もあり、餅つき機でついたり、手軽に買ってくることもできるようになりました。



地域の話題⑤
冬の空をいぬいぬイルミネーション
十二月一日から一月末まで、信州大学医学部附属病院に大きなクリスマスツリーのイルミネーションが登場しました。病棟入り口の南東に立つヒマラヤ杉です。三本のうち病棟側の一本が、十一月末に依頼を受けた業者の高所作業用のクレーン車によって一日がかりで飾りつけられました。年によっては枝の剪定を兼ねて三日間作業が続くこと



つきたてのお餅はとてもおいしかったです。

もあるそうです。十二月一日(月)の午後五時から病棟玄関でファンタスティックイルミネーション点灯式が行われました。点灯式は毎年小児科のスタッフの先立ちにより進行します。本郷病院長の開会の挨拶に引き続き、多くの教職員や参加者の見守る中、小児科の入院患者さんの手でスイッチが押され、赤・黄・緑・青・白の五色のLEDライト二二〇〇〇球が光を放ちました。平成十八年に、入院患者さんにとって、検査、治療を受

いちよう並木

「千両・万両・蟻通し 赤い実の付く縁起木」

松竹梅・南天・福寿草・葉牡丹と共に正月を飾る縁起物として、鉢植えを楽しむ方が大勢おられます。

暖かい地方では、昔から庭の日陰地の植栽下木として冬の景色に彩を添えています。他にも百両(カラタチバナ)・十両(ヤブコウジ)等、赤や白・黄色の実を付ける物もあります。寒冷地の信州で育つのは、ヤブコウジと山で育つツル蟻通し位です。寄せ植えを楽しんだ後に南

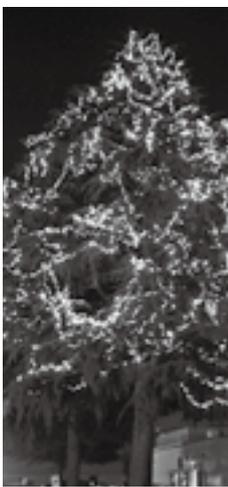


寄せ植えにも適しているヤブコウジ

天・福寿草・ヤブコウジを地に下ろし育てるのも楽しいと思います。ヤブコウジは地下茎と実生で増える丈夫な植物です。万両は六月頃まで実を付けますが、果肉を洗い落とし早くと発芽します。冬の寒さ対策さえとれば充分実生から育てる事も可能です。

けるだけでなく生活の場でもある病院で、気持ちよく過ごせるような環境づくりのため、患者サービスの一環として、当時の勝山病院長の提案で始まりました。すっかりおなじみになり、「イルミネーションで癒されました」という入院患者さんの声をはじめ、病院ボランティアの方もこの時期になると大変喜んでいて、と好評です。

このツリーは高さが二五



煌びやかなイルミネーション

メートルあり、自然木では松本市内で最も高いのではないかとのことです。女鳥羽の方から訪れるととてもきれいな見えます。期間中は毎日午後五時から十時まで点灯されました。厳しい寒さの中、このファンタスティックイルミネーションで心が温まった方も多かったことでしょう。